

スポーツしてきますか？

スポーツに関する町民アンケートを実施

昨年、2千人を対象とした、総合型地域スポーツクラブ（SC）の設立に向けた町民アンケートが実施されました。集計結果では、スポーツ実施率が、国や県の平均を大きく下回る結果となり、スポーツ離れに向けた施策が急務となっています。今月号では、アンケート結果の内容をお知らせします。

活動開始は

来年2月から

現在、総合型地域SCの来年2月の活動開始に向けて設立準備委員会などが設置され、準備に向けた取り組みがなされています。

総合型地域SCは、皆さんそれぞれの体力、年齢、興味、目的などに応じてスポーツを楽しむための環境づくりをする組織です。この組織では、町民みなさんが主役となって自ら運営、管理をすることができると

しい形態となっています。町民総参加型の魅力的な事業となるよう期待が寄せられます。

スポーツ実施率は

49%と低調

高校生以上に対して実施したアンケート結果を見ると、「1年間にスポーツを実施した」と答えた方は49%と全国平均75%を大きく下回る状況にあります。スポーツへの関心と意欲は高く、競技スポーツよりも、



町体育協会長 佐藤靖弘さん(羽鳥)

アンケートの結果を見て「なるほど」と思いました。外で遊ぶ子どもの姿があまり見られなくなりましたね。総合型地域SCの設立は、自分の健康づくりを見直すいい機会だと思います。多様なプログラムを準備して、誰もが参加しやすいようにしていきたいと思っています。



パウンドテニス協会長 栗林孝至さん(本町)

私たちは、会員約30名で、週に夜2回(月・土) 昼1回(土) 活動をしています。総合型地域SCは、専門的に、横断的に活動できることはいいことですが、何となくよく分からないのが正直なところです。既存団体をどう取り組んでいくのが課題だと思います。

趣味・健康志向のレクリエーションとして高い関心が寄せられています。やってみてみたいスポーツの上位に挙げられた種目は、町内で出来る施設が整っているにも関わらず、スポーツ実施率は低い状況にあります。スポーツが出来ない理由を見ると、「忙しさのため」「時間が合わない」「活動する仲間がいない」などが挙げられています。さらに、「世代を超えたスポーツ」、「個人参加のプログラム」などへの希望が多いことや、実施頻度の高い方ほど総合型地域SCへの加入希望者が多くなっており、新たな形態を持つ総合型地域SCを設立する意義は大きいことが分かります。

中学生以下に対して実施したアンケート結果では、小学校4年生以上では、スポーツの実施率は高いものの、小学校3年生以下の低年齢層では実施率が低い状況にあります。スポーツをしない理由としては、「特になし」という子どもが多く、「仲間がいない」、「場所がない」などの理由もあることから、気軽に足を運ぶことが出来る施設やプログラムの提供が求められます。スポーツ実施の目的として、「技能の向上」、「心身の鍛錬」も上位に挙げられており、競技スポーツへの要求も高くなっています。子どもたちの体力と反応能力につながる施策が求められ、総合型地域SCの設立が有効な手段となります。

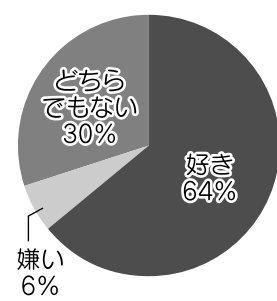
かける かちぬく かがみいし



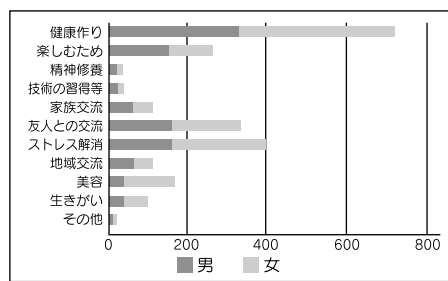
鏡石町総合型地域SC イメージキャラクター (作:絵本造形作家 菊地清氏)

アンケート集計結果(回答率約42%)

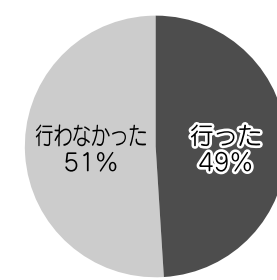
スポーツは好きか？



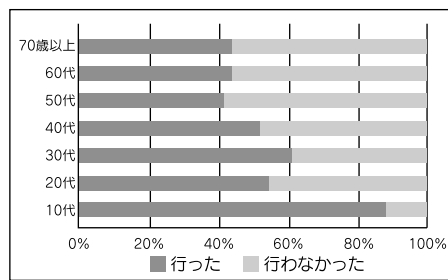
スポーツをする理由



スポーツ実施頻度



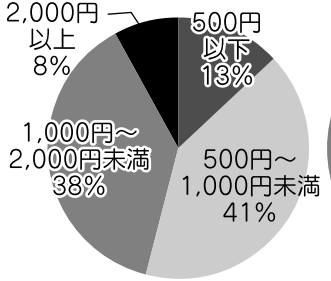
1年間にスポーツ実施



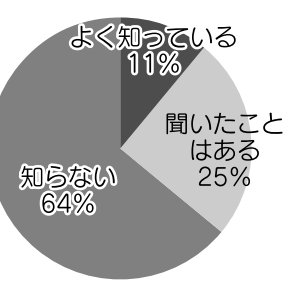
競技スポーツへの要求強い

中学生以下に対して実施したアンケート結果では、小学校4年生以上では、スポーツの実施率は高いものの、小学校3年生以下の低年齢層では実施率が低い状況にあります。

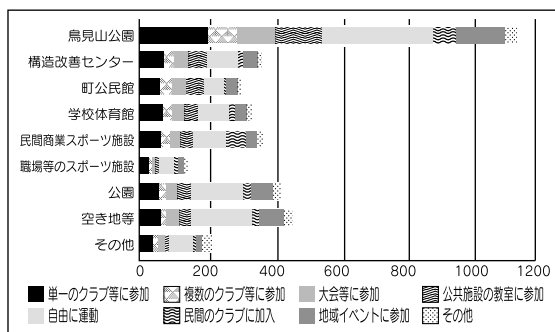
月会費



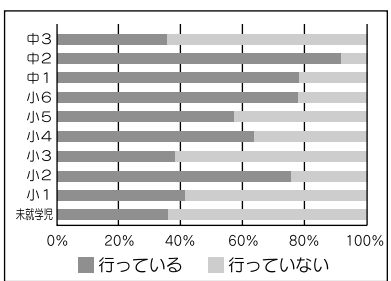
『総合型SC』認知度



活動場所と実施方法



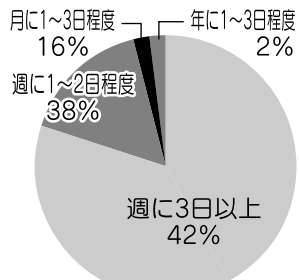
学年別スポーツ実施状況



中学生以下の部

520名を対象に調査
対象構成比: 幼児21%
小学生64%、中学生15%

スポーツ実施頻度



スポーツをする理由

